

主題：聖書の心臓部——ガラテヤ、エペソ、ピリピ、コロサイ

メッセージ 15

コロサイ人への手紙（3）

キリストを、聖徒たちに割り当てられた分け前として享受する

聖書：コロサイ 1:12. 出 3:8. 申 8:7-10. 26:9

I. キリストは首位のすべてを含む方として、御父の愛する御子の王国の中で、聖徒たちに割り当てられた分け前です——コロサイ 1:12-13：

A. 割り当てられた分け前とは、嗣業の分を指しており、それは、イスラエルの子たちの嗣業のために、彼らに与えられたカナンの良き地の割り当てによって例証されます——ヨシュア 14:1。

B. 新約の信者たちの割り当てられた分け前は、物質の地ではありません。それは、命を与える霊としてのすべてを含むキリストです——コロサイ 2:6-7. ガラテヤ 3:14. 5:16. ローマ 8:4：

1. 良き地の豊富が予表するのは、キリストの霊の中にある彼の信者たちに対する満ちあふれる供給としての、さまざまな面におけるキリストの計り知れない豊富です——申 8:7-10. エペソ 3:8. ピリピ 1:19。

2. 地の豊富を享受することによって、キリストにある信者たちは建造されて、神の家また神の王国としてのキリストのからだとなります——エペソ 1:22-23. 2:21-22. I テモテ 3:15. マタイ 16:18-19. ローマ 14:17。

II. 神の召しの目的は、神の選ばれた民を、すべてを含むキリストに対する享受の中へともたすことであり、すべてを含むキリストは、乳と蜜の流れる良き地によって予表されます——出 3:8. I コリント 1:2, 9：

A. 乳と蜜は、動物の命と植物の命とのミングリングであり、キリストの命の二つの面、すなわち贖う面と生み出す面です——申 8:8. 26:9. 参照、ヨハネ 1:29. 12:24：

1. キリストの命の贖う面は、わたしたちの法理的な贖いのためであり、キリストの命の生み出す面は、わたしたちの有機的な救いのためです——1:29. 12:24. 啓 2:7. 22:14. ローマ 5:10。

2. 主の食卓の象徴は、神の全体的な救いのための、キリストの命の贖い生み出す面を表徴します。ですから、良き地は食卓、すなわちわたしたちの享受のための祭りとなりました——マタイ 26:26-28. I コリント 10:17。

B. わたしたちは乳と蜜の地としてのキリストを享受することによって、乳と蜜としての彼で構成されます——「わが花嫁よ、あなたの唇は蜂蜜をしたたらせ、あなたの舌の下には蜜と乳がある」——雅 4:11 前半. I ペテロ 2:2. 詩 119:103。

III. 良き地は小麦の地であり、小麦は制限されたイエス、すなわち、肉体と成り、十字架につけられ、葬られた方を予表します——申 8:8. ヨハネ 12:24：

A. わたしたちを制限し圧迫する状況のただ中で、わたしたちは一粒の小麦としての主を経験します——24-26 節前半. 啓 1:9. 使徒 16:7：

1. わたしたちは制限し抑制する環境の中で主と接触するとき、彼が無限の神であって、有限な人と成ったこと、彼の中にはどのような種類の制限をも耐え忍ぶ力があることを認識します——ピリピ 4:13。
 2. わたしたちの命なるキリストは、一粒の小麦としてわたしたちの内側にいて、肉体と成った方、すなわち制限された方の命を生きます。彼はわたしたちの命であって、わたしたちが進んで制限され、死んで葬られるようにします——ヨハネ 12:23-26. コロサイ 1:27. 3:3-4。
 3. わたしたちは主と接触するなら、彼を一粒の小麦として経験し、彼の中でわたしたちの状況に満足するでしょう——ピリピ 4:11-12。
- B. パウロは自分自身をキリスト・イエスの囚人と考え、一見して物質の獄に閉じ込められていました。実は、彼はキリストの中に監禁されていたのです——エペソ 3:1. 4:1. 6:20。
- C. 最終的に、あらゆる忠信なキリストを愛する者たちは、キリストによってだけでなくキリストの中に監禁されます。わたしたちは彼を愛すれば愛するほど、ますます彼の中において、彼がわたしたちの獄となり、わたしたちがそこで彼を極みまで享受することができる程度にまでなります——ピリピ 4:4。

IV. 良き地は大麦の地であり、大麦は復活したキリストを予表します——申 8:8 :

- A. 大麦は早く熟するので、収穫の初穂、すなわち復活したキリストの予表です—— I コリント 15:20. レビ 23:10。
- B. 初穂として、キリストは命のパンとなりました。ですから、大麦のパンは、わたしたちの食物としての復活におけるキリストを表徴します——ヨハネ 6:48. 申 8:9 前半 :
1. 五の数は責任を表徴します。これは、復活したキリストが、責任を担うことができることを示します——ヨハネ 6:9。
 2. わたしたちは大麦のパンとしてのキリストを食べるとき、大麦のかたまりとなって、わたしたちが経験したキリストをもって他の人を養います——参照、士 7:13-14。
- C. 小麦、すなわち制限されたイエスを経験するために、わたしたちは大麦、すなわち無制限のキリストを適用する必要があります。わたしたちは制限されたイエスに従い、復活したキリストの力の中で、十字架につけられた方としての彼の中にとどまります——ヘブル 13:12-13. 6:19-20. 雅 2:8-14。
- D. わたしたちは、わたしたちを力づけてくださる方の中で、いっさいの事柄を行なうことができます。なぜなら、彼は復活した無制限のキリストであるからです——ピリピ 4:13。

V. 良き地はぶどうの地であり、ぶどうは犠牲となるキリスト、すなわち、ご自身のあらゆるものを犠牲にし、彼の犠牲から新しいぶどう酒を生み出し、神と人を活気づけるキリストを予表します——申 8:8. 士 9:13. 詩 104:15 :

- A. キリストはぶどう酒を生み出す方であり、ご自身を犠牲にして、神と人を活気づけるぶどう酒を生み出します。わたしたちがぶどうの木によって予表されるキリストと接触し、彼の犠牲にする命を経験するなら、彼はわたしたちを活気づけて、犠牲

の生活をさせ、人と主を幸いにするぶどう酒を生み出します——ローマ 12:1. エペソ 5:2. II コリント 1:24。

B. わたしたちは自分自身の中で、犠牲の命を生きることができません。なぜなら、わたしたちの命は天然の命、利己的な命であるからです——ヨブ 2:4. マタイ 16:25 :

1. わたしたちが主と接触し、彼の犠牲にする命を経験するなら、彼はわたしたちを活気づけ強めて、神のため、また人のために犠牲とさせます——ピリピ 4:13. ローマ 12:1. エペソ 5:2。

2. わたしたちはキリストを、犠牲とする命を持つぶどうとして経験すればするほど、ますます活気づけられて自分自身を犠牲とし、神と人を幸いにします :

a. わたしたちは幸いをもって「酔い」、最も幸いな人は最も利己的でないであることを認識します——参照、ピリピ 2:12-16。

b. わたしたちは幸いを、わたしたちと接触している人たちにもたらし、活気を神にもたらしめます——I コリント 16:17-18. II コリント 1:24. 5:13. ピレモン 7, 20 節。

VI. 良い地はいちじくの木の良い地であり、いちじくはわたしたちの供給としてのキリストの甘さと満足を表徴します——申 8:8. 民 13:23. 士 9:11 :

A. パウロは、自分の供給としてのキリストの甘さと満足を体験し享受した人の模範です——ピリピ 1:7, 18-19. 2:17-18. 3:1. 4:4, 10-13。

B. パウロの願いは、この世を去ってキリストと共にいることでしたが、彼はその信仰に対する聖徒たちの進歩と喜びのために、進んで肉体の中に残りまし——1:21-26 :

1. 経路としてのパウロを通して、聖徒たちはキリストを経験し、その信仰に対する進歩と喜びを持つことができました——25 節。

2. 今日、供給の経路に対する緊急の必要があります。聖徒たちがキリストを経験しようとするなら、だれかが供給の経路として仕えなければなりません。

C. パウロは恵みにあずかる者であり、主の中で大いに喜びました。彼は主の中で幸いであり、彼の幸いであることは、時がたつにつれて減少することはありませんでした——4 節. 2:2. 3:1. 4:4, 10。

D. パウロはからだを通して、イエス・キリストの霊の満ちあふれる供給を受けました。恵みとは、わたしたちの享受としてのキリストにある神が、イエス・キリストの霊の満ちあふれる供給を通してわたしたちに伝達されたものです——23 節. 1:19. ヘブル 13:18. I テサロニケ 5:25. エペソ 6:19-20。

VII. 良い地はざくろの良い地であり、ざくろは命の豊満、すなわち命の満ちあふれと麗しさ、命の豊富の表現を予表します——申 8:8. 出 28:33-34. 列王上 7:18-20 :

A. ざくろと金の鈴は、大祭司の上服の底の部分にありました。それは召会を表徴します——出 28:33-34。

B. 召会は人性において命に満ちているべきです。これは亜麻布でできたざくろの意義です。

C. 召会には、命の豊満の表現のための人性と、金の鈴を鳴らすための神性があります :

1. 命の豊満は召会の人性において表現されますが、警告の声は召会の神性（金の鈴）

において表現されます。鈴の音は、大祭司が不注意になって死なないように警告するためでした—— 35 節。

2. わたしたちはまず命の豊満の表現を持ち、次に金の鈴の音、すなわち、召会の神性からの語りかけを持ちます。

3. わたしたちの人性において表現される命の麗しさと、金の鈴からの神聖な音は、正常な召会生活のしるしです。

VIII. 良き地はオリブの木の地であり、オリブの木は、その霊で満たされ油塗られた方としてのキリストを予表します——申 8:8. ゼカリヤ 4:12, 6 :

A. オリブの木の油は、聖霊を表徴し、神と人を尊ぶのに用いられます——士 9:9. 参照、サムエル上 2:30 :

1. わたしたちは聖霊なしに主に仕えたり、人を助けたりすることはできません——使徒 6:3。

2. 主に仕え、人を助けるために、わたしたちはその霊で満たされていなければなりません。わたしたちはその霊で満たされてはじめて、神と人を尊ぶことができます。

B. わたしたちはキリストを人に供給し、油を供給するとき、神（金）を供給しているのです——ゼカリヤ 4:11-12 :

1. わたしたちはみなオリブの木となって、自分自身から他の人へと神を空にすべきです。

2. このようにして油は、オリブの木でありそこから神が流れ出ている人たちによって、必要な人たちに備えられます。

C. わたしたちはクリスチャンとして、オリブの木であり、それは分離した木であるという意味においてではなく、唯一のオリブの木であるキリストの枝であるという意味においてです—— 11-12 節 :

1. キリストは唯一のオリブの木ですが、彼から多くの枝、多くの芽が出て来ました。これらの枝、あるいは芽は、今日、地上での多くのオリブの木です。

2. 唯一のオリブの木であるキリストの枝として、わたしたちは油をもって、すなわち、その霊をもって他の人を供給し、彼らが神の唯一の証しのために生かされるようにする必要があります。